



議会だより



主な内容＊ 令和7年5月臨時会・6月定例会

P2 議長・副議長の就任あいさつ
P3～ 会派・委員会等の構成
P5 臨時会の議案と審議結果一覧
常任委員会の所管事務調査

P6～ まちづくりを問う（個人質問18人）
P21 定例会の議案と審議結果一覧
P22 令和6年度政務活動費収支報告
P24 市民の声（本埜中3年 加藤さん）

令和7年5月臨時会を開催

5月16日に、臨時会が開催され、議長・副議長の選挙、各常任委員・議会運営委員の選任などが行われました。その後、承認3件、同意1件の議案が上程され審議が行われました。

審議結果は5ページに掲載しています。

就任あいさつ

市民の皆さまには、日頃より印西市議会に対しご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

私たちは、5月16日の第1回臨時会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、議長、副議長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、印西市の人口は令和5年1月に11万人を突破しました。そして、令和5年の総務省による人口動態調査では、日本人の人口増加率が日本でトップと発表され、活気あふれる市として、今、全国から注目される自治体です。

皆さまは、印西市がお好きでしょうか。どんなところが変われば、更に良い市になるとお感じでしょうか。それぞれの置かれた状況により、求めるものもまた様々でしょう。

私たち議員は、市民の皆さま一人一人の声に耳を傾け、寄り添い、考え、執行部との真摯な議論を重ねてまいります。当市がまだ活かしきれていないポテンシャルを充分に引き出し、印西市民であることに誇りを持つことができるまちづくりのために、どうぞ皆さまのお知恵をお貸しくください。

明るい明日を信じる市民の期待に応えるべく、議員一同努めてまいりますことをお約束いたします。今後とも、より一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



議長
近藤 瑞枝

副議長
藤江 研一

至誠



代表 米井 重行



岩崎 成子



大野 忠寄



大崎 亜希

新政



代表 軍司 俊紀



板橋 睦



海老原 作一



津田 憲吾

公明党



代表 藤江 研一

創進



代表 小川 利彦



松尾 栄子



増田 葉子

TO BE



鈴木 博美



代表 稲葉 健



林 勝利



都築 真理子

無会派



議長 近藤 瑞枝



山田 喜代子



金丸 和史



松谷 知美



加藤 亮二

会派の構成

(令和7年5月26日現在)

至誠	4人
新政	4人
創進	3人
TO BE	3人
公明党	2人
無会派	5人



令和7年5月臨時会 議案と審議結果一覧

番号	件名 (件名は一部省略しています)	議決結果	議案と審議結果一覧																					
			大崎 亜希	大野 忠寄	加藤 亮二	鈴木 博美	津田 憲吾	都築眞理子	林 勝利	松谷 知美	稲葉 健	小川 利彦	米井 重行	岩崎 成子	海老原作 一	増田 葉子	松尾 榮子	軍司 俊紀	金丸 和史	板橋 睦	山田喜代子	藤江 研一	近藤 瑞枝	
《 議 案 》																								
承認第1号	専決処分の承認を求めること (印西市税条例の一部改正)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
承認第2号	専決処分の承認を求めること (印西市都市計画税条例の一部改正)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第3号	専決処分の承認を求めること (印西市国民健康保険税条例の一部改正)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
同意第1号	印西市監査委員の選任につき同意を 求めること(海老原作一議員)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

*専決処分…本来は議会が議決しなければならない事件を、緊急な場合など、行政運営の遅れや滞りを防ぐため、例外的に市長が議会の議決に代わり意思決定すること。なお、時間的に議会の招集を待てないなどの専決処分では、議会への報告と、議会の承認が必要です。

常任委員会の所管事務調査

前議長 海老原 作一

令和5年の改選後、印西市議会では、議会の活動原則等の基本的事項を定める議会基本条例を制定することとしました。また、2年間かけテーマを決め常任委員会の所管事務調査に取り組むこととしました。

ここからは、常任委員会の所管事務調査の取り組みについて説明をまいります。

総務企画・文教福祉・建設経済の三つの常任委員会でのそれぞれのテーマは、総務企画常任委員会は、「公共交通に関すること」、「公共施設政策について」、「入札・契約制度について」を、文教福祉常任委員会は、「文教福祉施設の在り方(人口増加自治体での諸課題への

対応)」を、建設経済常任委員会は、「ゼロカーボン実現に向けて」、「印西市都市マスタープランに沿ったまちづくり及び景観まちづくりについて」を調査研究してまいりました。

令和7年5月14日に印西市議会所管事務調査報告会を開催し、常任委員会ごとに2年間の調査研究の成果を報告発表しました。

はじめての取り組みということで、若干の修正等がありましたものの、当初の計画通り進めることができました。

新しい常任委員会の委員構成も決定し、近藤議長の指示により新たな所管事務調査が始まることとなりました。

まちづくりを問う



一般質問

議員は、市民の代表として印西市の市政全般について幅広く質問することができます。これに対し市は、今後の事業計画や現状を説明し、議論を深めていきます。

このやり取りは、市民の声を市政に届け、より良い印西市を作るためにとても重要なことです。

令和7年第2回定例会では、6月5日から6月10日に個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここではその一部を掲載いたします。

この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

個人質問

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 加藤 亮二 …………… P7 | 11. 大崎 亜希 …………… P12 |
| 2. 林 勝利 …………… P7 | 12. 松谷 知美 …………… P12 |
| 3. 米井 重行 …………… P8 | 13. 小川 利彦 …………… P13 |
| 4. 松尾 榮子 …………… P8 | 14. 金丸 和史 …………… P13 |
| 5. 増田 葉子 …………… P9 | 15. 藤江 研一 …………… P14 |
| 6. 山田喜代子 …………… P9 | 16. 都築真理子 …………… P14 |
| 7. 津田 憲吾 …………… P10 | 17. 軍司 俊紀 …………… P15 |
| 8. 稲葉 健 …………… P10 | 18. 海老原作一 …………… P15 |
| 9. 鈴木 博美 …………… P11 | |
| 10. 板橋 睦 …………… P11 | |



録画中継はこちらから



お知らせ

いんざい議会だより

令和7年(2025年)8月 No.213

問 データセンター建設について

答 地区計画の見直しに着手した

加藤 亮一議員



質問 千葉ニュータウン中央駅近くにおけるデータセンター建設計画について、市はいつ当該計画を把握し、現在までどのような対応・調整を行ってきたのか。

市長 令和4年6月、当該計画の設計業者より下調査としてデータセンター建築計画について最初の相談があり、その後、法令規制等の調査、確認、相談などが複数回あった。私も市長就任後、継続的な議論を続け、昨年の12月には私の率直な意見を事業者幹部に對し直接お伝えした。



千葉ニュータウン中央駅近くに建設予定のデータセンター

再質問 駅前の貴重な土地は、本来、商業や業務、交流の場としてにぎわいの形成が求められると考える。契約が既に成立しているとはいえ、市として、事業者とどのような協議体制を図っていくのか。

都市建設部長 市民の声をくみ取りながら、開発事業者に對し、事前協議手続きの中で公平公正な立場を原則とした上で、可能な限り協議・調整を行っていききたい。

再質問 市はパブリックコメントを導入し、今後の制度や条例整備に活かす方針を示したが、その具体的な制度設計や適用対象の位置付けは。

答弁 具体的な制度設計は現在検討しているところだが、まずは駅周辺において、今後のデータセンター建設に対する制限が行えるよう、地区計画の見直しに着手した。

問 戸神川調節池の鳥害対策について

答 県の対策に協力していく

林 勝利議員



質問1 戸神川調節池の鳥害について市は把握しているか。

環境経済部長 令和6年11月末の調査で約2200羽の生息が確認されたと千葉県印旛土木事務所から説明を受けている。

再質問 県が実施している対策について、市として支援する考えはないか伺う。

答弁 千葉県印旛土木事務所が対策に当たっており効果も確認できている。市としては今後も円滑に対策が実施できるように協力していく。

質問2 高齢化の進行に伴う医療・介護体制の整備状況と



戸神川調節池の様子

課題についてはどうか。

福祉部長 医療・介護体制については地域包括ケアシステムを構築していく中で、医療サービスと介護サービスが補完的に提供されるよう整備を進めている。課題については、医療や介護に携わる人材の確保やスムーズに連携を図ることができるようしていくことであると考える。

質問3 若年層や子育て世代への支援とのバランスについて伺う。

市長 政策の5つの柱を公約に掲げているが、教育・子育てにおいて若年層や子育て世代への支援を、健康・医療・介護・福祉においては、シニア世代の方々がずっと元気で安心して暮らせるまちづくりや居場所づくり、移動手段の確保について進めていきたいと考えている。

問 地元での就職・就労への補助金を

答 支援制度の導入を調査・検討する

米井 重行 議員



質問 日本は少子高齢化の進行に伴い、労働力全体が減少しているが、特に深刻なのが

若年層の労働人口の急減である。15歳から34歳までの層は、この20年で大幅に減少し、今後も加速度的に縮小していく見通しだ。状況打開のためには、若者が「働きたい」と思える環境を整えることが何より重要だ。若者や移住者の地元での就職・就労定着することを促進するため、地元定着補助金のような制度、例えば、地元企業に就職した新卒者やUターン・Iターン・Jターン

ン就職者に対する補助、資格取得支援、就労に伴う転居者

に対し、一定期間家賃の一部を補助する家賃補助など事例がある。伊西市の方針を伺う。

環境経済部長 若者や移住者が

が地元で定着し、地域経済の活性化や人口減少対策に寄与することは、重要な課題と認識している。特に、職場と住まいが近接する「職住近接」の環境を整えることは、若者や移住者の定着を促進する上で重要な要素である。提案いただいた「地元企業に就職した新卒者への補助」や「U・I・Jターン者への家賃補助」など、他自治体の先進的な取り組みや有効な支援策を参考にする。今後は、若者および移住者の定着促進に資する新たな支援制度の導入について、関係部局等と連携の上、調査・検討を進める。



働くなら伊西で！
若者の定着促進

問 中央駅前データセンターどう対応

答 早期に地区計画の見直しを図る

松尾 榮子 議員



質問 当計画については1年以上前から「市民から不安の

声があるが、市は動向を把握しているか」と質問してきたが、いずれも「新たな開発等の申請はない状況」とのことだった。千葉ニュータウン事業収束後、第三者企業への売却や住民の売買が行われるようになり、ルールが不明確で不透明さが増しているのではないか。千葉ニュータウン中央駅周辺や伊西牧の原駅周辺には、他にも現在駐車場として使われている広い土地がある。今回のデータセンター計

画が通れば、同様の計画が何件も続くきっかけになるのではないのか。

都市建設部長 同様の条件の土地は他にもあると認識している。実効性のある制度の整備が急務であり、駅周辺において建設に制限が行えるよう地区計画の見直しに着手したところである。

再質問 市は駅前など人々が集まる商業地区等に建設されるデータセンターについてどのような認識を持っているか。

市長 今回の開発予定地は千葉ニュータウン中央駅北口から徒歩5分という街の中心で市全体のまちづくりにとって極めて重要な場所であり多くの市民の生活の場の中心でもある。私としては、この場所にはこうした地域の状況にふさわしい施設が整備されるべきと考えている。



千葉ニュータウン中央駅前の
データセンター計画地



山林火災の原因は人為的なものがほとんど

環境経済部長 臭いや煙の苦面禁止にはどうか。

環境経済部長 環境保全条例は、関係法令に準じた規制基準を設定している。低周波音は国において明確な規制基準等が定められておらず、喫緊に改正すべきとは考えていないが、改正の必要性を検討し、遅滞なく対応していきたい。



マンションとイオンの間にデータセンターが建設予定

都市建設部長 今は開発業者から市に対して正式な事前協議の申請書が提出される前の段階。開発業者には市民に寄り添いながら計画を検討して欲しいと考えている。現在、駅前エリアや市民の生活圏に隣接したエリアにおける「新

福祉部長 市はこれまで見守り体制の構築など防止に努めてきた。今後地域と協働しながら対応する。

市民部長 安全確保は重要な。必要に応じ道路管理者等と連携を図り、安全な交通環境を整備されるよう努める。

福祉部長 制度の見直しの必要性について検討する。

問 生活に寄り添う環境保全条例に
答 改正の必要性を検討していく

増田 葉子議員



問 データセンターの市民への影響は
答 ルールづくりの検討を始めた

山田 喜代子議員



問 外国人居住者への行政情報公開は

答 多言語化を進めている

津田 憲吾 議員



質問1 「ごみの分け方・出し方」について、4か国語対応とした経緯はどうか。

環境経済部長 平成28年度に外国人居住者数の人数を踏まえ、英語版、中国語版、韓国版を作成し、平成30年には、やさしい日本語版を作成した。

再質問 周辺市に比べ本市の4か国語対応は少ない。平成28年から約10年が経過しており、人口別では中国人に次いでベトナム人、韓国人となっている。10年で人口動態も大きく変わっているが、4か国語

の対応で十分と考えているか。

答弁 近年、多くの国の方が市内に在住していることを踏まえ、他の外国語版の作成も検討していきたいと考えている。

質問2 自治会棟や集会所の設置要件についてはどうか。

市民部長 50戸以上の開発事業の場合に、事業区域内に配置することとしている。

再質問 集会施設の建設に対する補助・支援状況についてはどうか。

答弁 1㎡当たり15万円または建設費のいずれか低い額を補助基準額とし、10分の7から10分の9・5の補助率を掛けた額を補助金として交付している。

再質問 集会施設の建設の補助について、今後の方針は。

答弁 令和8年度からの補助事業の拡大に向けて準備している。



英語版「ごみの分け方・出し方」

問 南海トラフ地震への市の想定は

答 震度6弱から7の強さを予測

稲葉 健 議員



質問 南海トラフ地震の対策について市が想定している被害状況について伺う。

総務部長 本市は、南海トラフ地震に係る特別措置法の規定による地震防災対策を推進する必要がある地域に指定されていない。令和2年から3年に実施したアセスメント調査では、市全域で震度6弱から7の地震の強さを予測し、最も大きな被害を想定しており、南海トラフ地震発生にも対応できると認識している。

再質問 災害時に、市民の方々が避難する際にどこへ逃げるかが一番重要なことと考えるが、市内にはあまり避難誘導の看板がない。市はどのように考えるか。

答弁 各指定避難所には、避難所であることを示す避難所看板が設置されている。避難誘導の看板については災害の状況により、予定している避難経路が不通となる場合などもあり、現在、設置の予定はない。

再質問 指定避難所までの避難経路について、どのように市民に周知などをするのか。

答弁 さまざまな被害を想定し、各世帯に応じた複数の避難経路を検討することが重要であると考えている。防災訓練や出前講座等の、あらゆる機会を活用し、周知を図っていく。



避難所に設置されている避難所等案内看板



登校中の児童の様子

問 小1の壁対策、実態把握は

答 国の通知を受けて対応していく

鈴木 博美議員



質問1 複数の小学校で登校

時間前に2人から60人の児童が待機している状況があると伺っている。家庭の状況を丁寧に調査し把握する考えは。

教育長

今後、国から自治体に対し、適切な対策を進めるよう通知される予定。通知を受けて対応していく。

質問2 学童クラブ待機児童

数は3月時点で4年生以上が顕著であった。5月の状況は。

教育部長

学童クラブ全体で76名。4年生以上は各学年約20名前後となっている。

再質問 市長公約の学童クラ

ブ不足解消に向けた進捗は。

答弁 学校施設を活用した受入定員増や、民間学童クラブとの協議を進めている。

質問3 今年度の市総合防災

訓練にペット同行避難を想定した訓練は。

環境経済部長

非常に有効だが、様々な影響から、現在のところ考えていない。

再質問 飼い主向けに講習と

避難所での体験会をセットにした機会を設けては。

答弁

千葉県獣医師会などと調整し検討していく。

質問4 浄化槽設置基数は。

環境経済部長 県から令和5年度で6345基と伺った。

再質問 法定検査の受検率は。

答弁 36.0%と伺っている。

再質問 当市の受検率向上に

向けた具体的な取り組みは。

答弁

法定検査の受検を促す文書送付も可能と考えている。

問 今後の学校経営の在り方は

答 大規模改修計画を進めて行く

板橋 睦議員



質問 平賀小、六合小、い

は野小の今後の学校経営は。

教育部長

平賀小は築35年、児童数は令和7年度70人、令和13年度は36人と予測。六合小は築47年、児童数は令和7年度65人、令和13年度は51人と予測。いには野小は築25年、児童数は令和7年度403人、令和13年度は180人と予測。学校施設長寿命化計画では、平賀小は令和11年度、六合小は令和10年度に大規模改修の設計の予定となっている。

再質問 3校の令和7年度の

児童総数は538人、令和13

年度は267人で約半数になる。3校の令和13年度の児童数についてどう考えるか。

答弁 平賀小は4学級で過小規模校、六合小は6学級で小規模校、いには野小は8学級で小規模校の予測となる。

再質問 大森小、木下小の今

後の学校経営は。

答弁

大森小は築46年、児童数は令和7年度168人、令和13年度は272人と予測。木下小は築50年、児童数は令和7年度213人、令和13年度は272人と予測。大森小は現在大規模改修中。木下小は学校施設長寿命化計画では、令和8年度に大規模改修の設計予定となっている。

再質問 地形的安全面、体育

館、プール、校庭の現状は。

答弁

木下小の体育館は築47年、プールは築54年、校庭の面積は4527m²である。



数年後に児童が半数になる、いには野小学校

問 芸術ホールの施設予約の見直しは

答 利用者の意見を参考に検討する

大崎 亜希議員



質問1 催し物の種類や目的に応じ、芸術ホールの早期予約を可能とするような「柔軟な運用」について、市の見解を伺う。

教育部長 市民が、より身近に、より手軽に利用できるように、市内各公民館と同様の規則で定めている。今後は、

利用状況や利用者からの意見等を参考に検討していく。

再質問 優先的に利用できる行事や催しには、どのようなものがあるのか。

答弁 市の機関が事務事業を行う場合、国や他の自治体が行



300席のホール。座席可動でフラットな会場へと転換

市に関係する事業を行う場合、指定管理者または教育委員会の承認を得て、団体が共催や後援を受けて利用する場合。指定管理者が特に理由があると認められた場合については、期間外でも予約をすることが可能とされている。

質問2 こども誰でも通園制度の実施に当たり、自治体に求められる役割について、本市の認識と今後の取り組み方針について伺う。

市長 自治体においては、体制を整備することが求められている。また、対象となる子どもの利用促進を図るための広報・周知・関係者によるネットワークの場をつくることも重要である。市としては、情報収集に努め、令和8年度の本格実施に向け、印西市に即した制度となるよう準備を進めていきたいと考えている。

問 データセンターの地域共生提案を

答 公平公正を原則に協議・調整する

松谷 知美議員



質問 千葉ニュータウン中央駅北側の民有地に建設予定のデータセンター事業者へ、市長は「素直な意見を伝えていく」とのことだが、その意見は市長個人としての見解か、市の正式な見解・要請か。

市長 市長である私の考えを事業者に伝えたものである。

再質問 市長が事業者へ伝えた意見の内容や、伝えた時期・手段について伺う。

答弁 昨年12月、事業者本社を訪し、地域にふさわしい施設整備を直接申し入れた。

再質問 市長である私の考え



地域共生のデータセンターに

このことだが、市の立場を明確にし、見解や要請は文書などで正式に伝えるべきだ。また、その内容は市民への説明責任もあると考えるがどうか。

都市建設部長 事前協議の前の段階であり公平に協議を進め、市民への説明責任も様々な場で果たしていく。

再質問 データセンターの建設が進む場合、地域住民の意見を十分に踏まえ、住民と共生できる施設整備となるよう、事業者に積極的に提案、働きかけを行うべきだ。広場や商業機能を設ける地域貢献の提案や夜間の歩道照明の整備、建物の緑化、景観配慮等、生活環境の配慮の提案を要請すべきと考えるが、市の考えは。

答弁 公平公正な立場を原則に、市民の声をくみ取りつつ、可能な限り事業者と協議・調整を行っていく。

問 印西市の農業政策は

答 行政として必要な支援を行う

小川 利彦 議員



質問1 離農させない施策は。

環境経済部長 関係機関と連携し、協議の場を設け、丁寧な集約化を進めていく考えだ。

再質問 離農者の増で耕作放棄地が発生するが、この状況を抑える施策はあるのか。

答弁 あらかじめ次の担い手を協議し、作業の効率化が見込まれる農地の集約化についても、地域で方向性を決めておくことは、耕作放棄地の発生を防ぐ上で有効と考えている。

質問2 各公共施設内外のバリアフリーの状況はどうか。

総務部長 各施設の改修時や



豊作が期待される圃場

必要に応じて、千葉県福祉のまちづくり条例の整備基準に基づき、バリアフリーに配慮した改修を進めている。

質問3 空き地の雑草等の除去に関する条例制定後の状況を伺う。

環境経済部長 関係部局を介して、土地所有者等に、管理不良状態の改善をお願いしている。

質問4 通行に支障がある雑木及び雑草の対策で、通学路ではどのような配慮をしているのか。

都市建設部長 雑木や雑草により市道の通行に支障が生じていると連絡を受けた場所が通学路であった場合は、除草作業の実施時期の調整や、雑草等の繁茂状況等に応じて追加の除草作業を実施するなど、安全に登下校できるように努めている。

問 コミュニティスクール設置予定は

答 全学校、令和10年度末までに設置

金丸 和史 議員



質問1 現在行われているさわやかコミュニティ推進委員会とコミュニティスクールの関係を伺う。

教育部長 さわやかコミュニティ推進委員会は、学校・家庭・地域の連携と協力の場として学校支援等を行う任意団体で、設置予定の学校運営協議会の機能と一部重複する部分もあることから、その方向性を検討し、整理が必要。

再質問 コミュニティスクールの運営主体はどこか。

答弁 各小中学校が主体性を維持しながら、学校運営協議



コミュニティスクールへ

会において運営していくことが必要と考えている。

再質問 モデル校以外は同じ時期に設置するのか。

答弁 今後は調整がついた学校から順次、設置に向けた諸手続きを進め、全学校、令和10年度末までに設置したい。

質問2 マンション管理計画認定制度の現状は。

都市建設部長 令和6年度に市内で3件のマンションに対して認定を行った。

再質問 マンションに対する固定資産税の軽減措置の周知は徹底されているのか。

答弁 一定の工事を含む大規模修繕を行ったマンションに対して長寿命化促進税制の期間が令和9年度末まで延長され、現在ホームページ等で周知をしている。今後はきめ細かく税の軽減措置について周知を図っていく。



印西牧の原駅圏の広大な事業用地

問 牧の原駅圏のデータセンターは
答 建設計画は聞いていない

軍司 俊紀議員



質問 印西牧の原駅周辺には未利用地があり、義務教育学校予定地の隣接地なども含め、データセンター建設の予定があることも認識されているはずだ。新たな街づくりルールを独自に策定すべきでは。

企画財政部長 当該土地については、所有者と意見交換を行ったが、データセンター建設の計画は聞いていない。

再質問 地区計画の見直しには時間がかかるため、一いつ

までに何を判断するか」を明確にすべき。特に印西牧の原駅周辺など、データセンター建設が想定される地域には早急な対応が必要である。印西牧の原駅圏の商業施設内に建設される時からこの議論は続いているが市は具体的な対策を講じてこなかった。SNSでの発信はあっても、国や県への正式な働きかけがあったのか疑問が残る。他自治体では「建設対応方針」を策定しており、印西市も行政判断で早急に対応すべきである。街づくりや財政戦略について、法律に基づく明確なビジョンを示すよう求めたい。

市長 明確なタイムラインのもと、地区計画を最優先で進める必要があると認識している。主権者や事業者との対話を重ねつつ、国の制度改正にも働きかけていく。

問 水道インフラの維持管理は
答 経営戦略に基づき実施していく

海老原 作一議員



質問1 水道の配水管の老朽化についての認識は。

上下水道部長 配水管の法定耐用年数は40年となっております。これを経過した管路延長の割合は約16%であり、今後、相応に高まっていく。

再質問 今後の水道インフラの維持管理に対する考え方は。

答弁 点検・修繕を行い、印西市水道事業経営戦略に基づき更新工事を実施していく。

質問2 救急医療情報キット配布事業の現状は。

福祉部長 平成26年度の事業開始から延べ2064人に配布している。



命をつなぐ救急医療情報キット

再質問 救急搬送時の救急医療情報キットの活用実績は。

答弁 印西地区消防組合の報告では、令和4年度から令和6年度で1298件である。そのうち印西市の件数は92件であり、残りが白井市の件数である。

再質問 救急医療情報キットの周知案内に、動画、絵的表現、ナッジ理論を活用し啓発・周知行為ができないか。

答弁 必要性を理解できるように啓発するとともに、利用者の命をつなぐものと認識できるような、多様な手法を活用していく。

再質問 医療情報を最新のものにしていくべきではないか。
答弁 広報いんざい、市ホームページ、SNSを活用した呼びかけに加え、チラシを作成するなど多様な方法で対応をしていく。

陳情

第7-4号

▼「自転車通行空間整

備の基本方針・整備

手法」の策定と早期

実施への陳情

〈議員配付〉



いんざい議会だよりを

スマートフォン用アプリでご覧になれます



「議会だより」をより多くの方々に届ける情報発信手法として、スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」で配信を行っています。

「マチイロ」のアプリをダウンロードすれば、スマートフォンやタブレットからいつでも、どこでも「議会だより」を読むことができます。



マチイロ

右の2次元コードからもダウンロードできます。



始めるのは簡単です

- 1 App Store・Google Playから「マチイロ」を検索しダウンロード。
- 2 お住まいの地域など、簡単な設定をします。
- 3 使用開始

※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者の負担となります。

こんな使い方もできます

- 印西市ホームページに接続しなくても、またオフラインでも「議会だより」を閲覧できます。
- 最新号が発行されると、アプリにお知らせが届きます。
- 新着情報と連動してお知らせが届きます。
- ページめくりや拡大縮小なども簡単にできます。
- スクラップ機能として、範囲を指定して画像を保存することができます。保存した記事はメールへの添付やSNSでシェアできます。
- アプリのオリジナルコンテンツを見ることができます。



表紙の写真

滝野小学校放課後子ども教室「のびっこ」で夏まつりが開かれました。雷のため外遊びは中止となりましたが、体育館には輪投げなどの遊びコーナーが盛りだくさん。工夫あふれる催しに、子どもたちは元気いっぱい、大満足の様子でした。アイスやフルーツポンチなどのおやつも好評で、笑顔があふれました。運営する堀越愛さんは「親でも先生でもない大人との関りにこそ、この教室の魅力があると思います」と話してくれました。こうした見守りの輪が広がることを願います。

令和7年度補正予算

暮らしと未来をつなぐ、
補正予算が決定！注目の5つを
ピックアップ!!

6月12日に委員10人出席のもと審査を行い、議案第7号、議案第8号、議案第9号の3議案が全会一致で原案どおり可決されました。

今回は、市民の皆さんの暮らしや教育、安心・安全に関わる重要な施策が多数盛り込まれています。

Pick up
01

【教育】新しい学校づくりへ第一歩！

5,500万円

(仮称)東の原義務教育学校の整備設計に予算を計上。児童数の増加が見込まれる地域に、新たな義務教育学校を設計するための予算が盛り込まれました。既存校の過密化を解消し、子どもたちの学びやすい環境を整えるための第一歩となります。



【教育】iPadを導入！児童・教職員に計15,000台導入

11億5,581万円 (事業期間R7～12年度)

第2期GIGAスクール構想により、教育用端末を更新。子どもたちのICT教育を支えるため、故障率の低いiPadをリース契約で導入。学びの質の向上を図ります。※債務負担行為の設定

Pick up
02Pick up
03

【子どもの安心】通学支援で安全を確保

568万4千円

木下小学校の別所地区の児童に対し、登下校時の安全確保の観点から、スクールバスの運行を行うこととしました。今回の補正により、通学支援のさらなる充実が図られます。



【インフラ】老朽化した雨水管路の点検を強化

3,540万円 (下水道事業会計)

八潮市の事故を受けて安全で安心なまちづくりのために、大口径の雨水管を対象とした重点調査を実施。点検による管路の確認は台風や集中豪雨への備えとなります。

Pick up
04Pick up
05

【暮らし】千葉ニュータウン中央駅圏複合施設

72億9,914万2千円 (事業期間R7～26年度)

千葉ニュータウン中央駅圏の複合施設の建設整備が進んでいます。今回は物価高騰・人件費増・金利変動に対応する増額措置が取られました。※債務負担行為の再設定



※本イラストはイメージ図です

各常任委員会の審査

印西市議会では、全ての議案を委員会に付託し審査することを原則としています。各委員会に付託された議案と審査内容の一部を要約して掲載します。

文教福祉常任委員会

福祉部・健康子ども部・教育委員会を所管

保健センター集約へ

【議案第8号 印西市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】令和7年8月1日

をもって、高花保健センター、印旛保健センターを廃止して総合保健センターに集約し、本埜保健センターを廃止して大森保健センターに集約する。

問 住民サービスへの影響は。

答 保健センターとしては印旛と本埜と高花

は廃止するが、健診や相談は、今までどおり会場を借りて、実施する予定であり、これまで行っていたものがなくなるということではない。また、事前の健康相談

は現在も予約制で行っているが、引き続き公共の施設を借りて行う予定であり、その部分も問題ないと考える。

問 廃止される高花、印旛、本埜の各保健センターに通われていた方々に対する配慮は。

答 保健センターがある

とあって支所の窓口に来た方については、電話



総合保健センターが入るコスモスパレットⅡ

やタブレットで総合保健センターにつながる直接総合保健センターの職員とやり取りすることで、解消できると考えている。また、これまで行ってきた保健師の家庭訪問も引き続き行っていく。

問 専門職員及び施設の集約をすることによって、廃止することによって、職員数に増減はあるのか。また、この仕事に従事している人たちが今後どうなるのか。

答 職員の増減は、この変更はない。毎日交代で行っていた部分がなくなるので、業務負担が非常に少なくなるかと考えている。



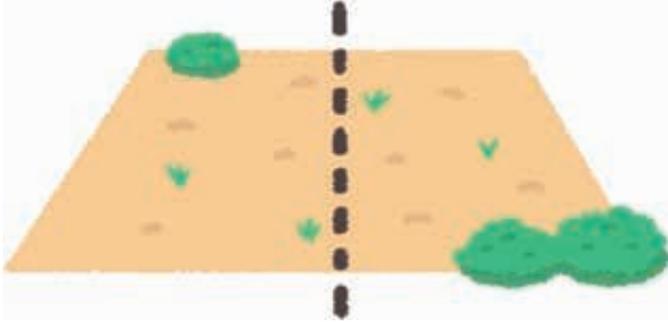
番号	件名	結果
議案第5号	印西市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決

審査結果

初めての都市計画提案制度活用事例

【議案第6号 印西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】印西市計画地区計画に定める木刈四丁目地区地区整備計



敷地面積及び壁面の位置に関する制限

画区域における建築物の敷地面積及び壁面の位置に関する制限について、条例で定めることにより、当該制限の実効性を確保するもの。また本市において定めている地区計画の区域は、37地区あり、木刈四丁目地区を新たに適用区域として加えるもの。

【問】

今回の地区計画について定めることになった経緯、経過は。

【答】

木刈四丁目の自治会役員より相談を受け、合意形成に至った。千葉県や千葉地方検察庁と協議を行い、令和7年3月19日付で本市の都市計画審議会における審査、都市計画法第19条に基づく千葉県との協議を経て、5月27日付で都市計画法に基づく地区計

画の決定告示を行った。

【問】

地区計画の設定について、7割以上の同意があったとのことだが、どのように確認を行ったのか。

【答】

令和6年4月11日付で提出された地区計画提案書により489名中同意者数が343名、70%の同意の確認ができた。

【問】

条例の施行が令和8年1月1日となっているが、施行日の時期の設定理由は。

【答】

都市計画法上は既に効力が発生しており、本条例の第17条に罰則規定があることから罰則規定を所管する千葉地方検察庁との協議において、公布日から半年間程度の周知期間を設けることとしている。



番号	件名	結果
議案第6号	印西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決

育児休業法等の改正に伴う条例改正、 他4議案



【議案第1号】【内容】育児休業

法等の改正に伴う部分休業の取得形態の変更のための条例改正

問

非正規職員も対象か。

答

非常勤職員の場合は、要件があり、1週間の勤務日数が3日以上、または1年間の勤務日数が121日以上の職員が対象となる。

【議案第2号】【内容】公益財団

法人印旛郡市文化財センターが公益財団法人印旛・柏文化財センターに変更されたことに伴う条例改正

問

変更の内容は。

答

令和7年4月から対象法人の構成市・町に柏市が

加わったことによりエリアが拡大され、このことに伴い、法人の名称が変更された。

【議案第3号】【内容】一般職員

の給与等に関する法律改正に伴う条例改正

問

【議案第4号】【内容】地方税法等の改正に伴う条例改正

問

申告様式の変更は。

答

国の所得税の様式を使用するので、課等での負担はない。

問

公示送達方法の追加は。

答

市のウェブサイト上に内容を表示すること、市役所内の市民開放用パソコン等での閲覧する等の方法が定められ



このまちに大切な
有権者の一票を

答

国政選挙、地方選挙問わず全ての選挙に適用される。

問

全ての選挙に適用されるのか。

【議案第10号】【内容】国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律改正に伴う条例改正

【議案第10号】【内容】国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律改正に伴う条例改正

番号	件名	結果
議案第1号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第2号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第3号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例及び印西市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第4号	印西市税条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第10号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決

審査結果

令和7年第2回定例会 議案と審議結果一覧

番号	件名	議決結果	大崎 亜希	大野 忠寄	加藤 亮二	鈴木 博美	津田 憲吾	都築 眞理子	林 勝利	松谷 知美	稲葉 健	小川 利彦	米井 重行	岩崎 成子	海老原 作一	増田 葉子	松尾 榮子	軍司 俊紀	金丸 和史	板橋 睦	山田 喜代子	藤江 研一	近藤 瑞枝	
〈 議 案 〉 (市長提出議案)																								
議案第1号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例及び印西市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	印西市税条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	印西市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第6号	印西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号	令和7年度印西市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第8号	令和7年度印西市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第9号	令和7年度印西市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第10号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること(馬場 正実氏)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること(平田 茂康氏)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること(小林 すみ子氏)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、—=その他

※議長(近藤瑞枝)は採決に加わりません。

令和6年度 政務活動費 収支報告

政務活動費とは…

「印西市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、議会における会派（※1）に対し交付されるものです。

交付額は会派の所属議員数に年額36万円（年度内に異動があった場合は月割り）を乗じた額となります。各会派は、年度末に領収証等の必要書類を添えて収支報告書を議長に提出し、残額は市に返還しています。（※1）印西市議会では、2人以上の議員により結成することができますが、政務活動費の交付にあたっては、所属議員が1人の場合でも会派名を付しています。

令和6年度 政務活動費収支報告（令和6年4月～令和7年3月）

（単位：円）

会派名	人数	交付額	支出額								返還額
			調査研究費	研修費	広報費	広聴費	資料作成費	資料購入費	人件費	計	
創進	5	1,800,000	16,168	40,000	1,509,685	20,756	4,425	18,250	0	1,609,284	190,716
新政	4	1,320,000	355,836	133,428	552,530	0	69,322	28,853	0	1,139,969	180,031
至誠	3	1,260,000	0	0	606,612	0	0	0	0	606,612	653,388
TOBE	3	1,080,000	0	116,558	0	0	0	0	0	116,558	963,442
いま未来※2	2	480,000	0	10,000	459,334	0	0	0	0	469,334	10,666
公明党	1	720,000	0	41,495	673,958	0	20	1,188	0	716,661	3,339
日本共産党	1	360,000	0	0	360,000	0	0	0	0	360,000	0
印西ダイバーシティ	1	360,000	0	0	348,893	0	0	0	0	348,893	11,107
歩	1	360,000	36,131	0	0	0	0	16,500	0	52,631	307,369
One印西※3	1	90,000	0	0	0	0	0	0	0	0	90,000
計		7,830,000	408,135	341,481	4,511,012	20,756	73,767	64,791	0	5,419,942	2,410,058

※2 会派 いま未来 は、議員補欠選挙により年度途中で結成しています（令和6年7月24日結成）。

※3 会派 One印西 は、議員辞職により年度途中で解散しています（令和6年7月1日解散）。

使途項目（解説）

調査研究費… 会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費

研修費… 会派が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費

広報費… 会派が行う活動及び市政について住民に報告するために要する経費

広聴費… 会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費

資料作成費… 会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費

資料購入費… 会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費

人件費… 会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費

●交際費的（慶弔費等）な経費や政党活動、選挙活動などには支出することはできません。

領収書を含めた各会派の政務活動費収支報告書は、市役所1階行政資料コーナー及び市議会ホームページで閲覧できます。



いんざい議会だより

令和7年（2025年）8月 No.213

22

全国市議会議長会より
表彰状が授与されました

市議会議員として、市政の発展に努められた功績をたたえ、次の3名が表彰されました。

《在職15年表彰》

近藤 瑞枝 議員

《在職10年表彰》

稲葉 健 議員
米井 重行 議員



米井 重行 議員 近藤 瑞枝 議員 稲葉 健 議員

「声の議会だより」を作成しています

目が不自由など文字による情報入手が困難な方のために、「議会だより」をCDに録音した「声の議会だより」を印西市社会福祉協議会に委託し、作成しています。

配布を希望される方は、障がい福祉課 ☎0476(33)4639までご相談ください。



編集後記

5月16日に開催された臨時会で、新議長、副議長、各常任委員長、副委員長等の新しい議会人事が決定しました。令和6年7月の市長選挙で当選された藤代市長とともに二元代表制の新しい布陣が整いました。

議会だより編集委員会も、6名の新メンバーでスタートしました。このうち4名が当選1期目とフレッシュな陣容です。

議会だよりは令和6年8月号から全ページカラー化するなど充実が図られました。今後も写真を多くして、一層読みやすく、手に取っていただける魅力のある広報誌作りを目指してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

(藤江)



委員長 藤江 研一
副委員長 林 勝利
委員 大野 忠寄

鈴木 博美
津田 憲吾
増田 葉子



印西議会だよりに 寄せて

本埜中学校

3年 加藤 隼成
かとう はやな



僕の住む地域には五百年以上前から続くと言われていて、伝統の神楽がある。僕自身も、家族ぐるみで祭礼に参加しているが、父に聞いたところ、昔は各家庭の長子一名だけの参加と決められており、しかも男子だけが参加できる祭りだったそうだ。今では千葉県指定無形民俗文化財でもあり、中学生の僕たちは伝統芸能伝承者として認められてい

る。そんな祭りに参加できることは誇りでもある。

しかし、近年その伝承に赤字が灯っている。人口の減少だ。祭りを受け継ぐ地域の子どもが減りつつあり、学区の本埜中に入學する生徒も減っている。昔から口承伝承だったため、教えてくれる大人と指導してもらおう子どもが、いっしょに集まらなくてはならない。そんなこともあり、祭りの伝承が難しくなってきたそうだ。

そこで地域外の市民の参加を認めようということになった。「突破り」なのかもしれないが、これは古くから印西市に住む住民と、新しく印西市民になった人たちとの交流の場になるのではないかと思っている。古くから残るよき伝統を守り、新しい風を取り入れる柔軟さを持ちたいと思っている。

令和7年 第3回定例会 会期予定及び日程

令和7年第3回定例会は、8月29日(金)から9月29日(月)までの会期予定です。

最新の日程は、ホームページでご確認ください。

なお、インターネットによる本会議のライブ中継及び委員会の録画中継を配信しておりますので、ご利用ください。

詳細については、議会事務局までお問合せください。

【印西市議会事務局】
☎0476(33)4614



いんざい君© 2011 Inzai City

日	月	火	水	木	金	土
8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22 議会運営委員会	8/23
8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29 本会議 (議案上程)	8/30
8/31	9/1 本会議 (会派代表質問)	9/2 本会議 (会派代表質問)	9/3 本会議 (個人質問)	9/4 本会議 (個人質問)	9/5 本会議 (個人質問)	9/6
9/7	9/8 本会議 (個人質問)	9/9 決算審査 特別委員会	9/10 決算審査 特別委員会	9/11 決算審査 特別委員会	9/12 決算審査 特別委員会	9/13
9/14	9/15 敬老の日	9/16 予算審査 常任委員会	9/17 総務企画 常任委員会	9/18 文教福祉 常任委員会	9/19 建設経済 常任委員会	9/20
9/21	9/22	9/23 秋分の日	9/24	9/25	9/26 議会運営 委員会	9/27
9/28	9/29 本会議 (議案の採決)	9/30				

